

六次産業化・地産地消法に基づく認定事業計画一覧（北海道）

■総合化事業計画

令和6年3月29日現在

No.	事業名	事業の概要	認定事業者	市町村	認定年月	備考
1	地域の特産品である馬鈴薯と南瓜を中心とした商品の加工・販売事業	北海道の中で比較的温暖な気候の道南で自社生産した野菜を使用した加工品の開発・生産を行う。 特に①水産資源も豊富な道南・函館らしさを意識した馬鈴薯と鳥賊を組み合わせた農水産加工品、②道南で昔から食されていた、いもち・かぼちゃもちの常温商品などの開発・生産を行うことにより、農業経営の改善及び新たな雇用の確保を図る。	株式会社駒ヶ岳ファーム大久保	函館市	H23.5	
2	微粉碎氷を利用した鮮度保持流通システムの導入による物流の改善	新技術（ペジタブルアイスインジェクションシステム）によるブロッコリーの鮮度保持を実現し、首都圏大消費地までの物流を改善する。 さらに、他産地にない物流手法と鮮度保持技術を活かし、輸出も視野に入れた新たな契約販売先を獲得する取組も行い農家所得の向上を図る。	美瑛町農業協同組合	上川郡美瑛町	H23.5	
3	農場余剰生産野菜の利活用と加工品の高品質化を目指す事業	既存商品との差別化を図った商品開発及び規格外や廃棄農産物の有効利用を目的とした商品開発・製造に取り組む。 具体的には、完熟トマトを使用した高糖度トマトジュースや規格外・余剰生産品のキュウリを使用した漬物を製造するほか、米・大豆を使用した味噌の小分け・量り売りを行い、農業経営の改善と安定化を図る。	有限会社大塚農場	石狩郡当別町	H23.5	
4	ベビーリーフの加工販売事業	7ヶ月間休耕となるトマト栽培用のハウスを活用して新たに複数のリーフ類を生産し、その幼葉を混合したベビーリーフを販売することにより、農業経営の改善を図る。 さらに、生産面では北海道の冬場でも生産体制が確立できるよう低コストの暖房設備を整備するとともに、販売面では品質保持に優れた容器を使用するなどの工夫を凝らしていく。	有限会社キョクトー	旭川市	H23.5	
5	トマト、スイートコーン、小豆の1次加工品のビュレを利用した新商品開発及び販売事業	自社生産野菜から製造する1次加工品のビュレを活用した商品開発と生産を行う。 具体的には、トマトジュース・チーズケーキ・シュークリーム・アイスの商品開発とともに、販路の拡大と併せて農園内の直売体制も構築していくことにより、農業経営の改善及び地域の活性化を図る。	株式会社岡本農園	河西郡中札内村	H23.5	
6	地域資源である「ホエー」を活用したホエー豚による加工品の製造・販売事業	ホエー豚の生産から、商品開発・販売までを一体的に行うことにより、一層の付加価値向上を目指す。 具体的には、ホエー豚の特長を活かした「ホエー豚シャブシャブセット」、「黒ニンニク入りホエー豚餃子」などを開発・販売していくことにより農業経営の改善を図る。また、需要拡大に伴い飼養頭数を増加するなど生産体制も強化していく。	株式会社とかち・とん太・ダー子	帯広市	H23.5	
7	地域の戦略作物である大豆を利用した「手作りみそ」の製造・販売、「牛肉」の加工・販売等に係る事業	自社生産の農畜産物を活用した加工品を開発し、地域での直売、学校給食への供給から広範囲での販路獲得を目指す。 具体的には、大豆の規格外品も活用した味噌の開発・生産、肉牛の精肉製造・販売、さらに地元ベーカーへの供給のため小麦粉の生産も行うなど、農業経営の多角化・高度化をはかり、「きよさとブランド」あるいは「オホーツクブランド」の確立を目指すことにより、農業経営の改善及び地域の活性化を図る。	有限会社澤田農場	斜里郡清里町	H23.5	
8	米、野菜（トマト、ほうれんそう、とうもろこし、枝豆）を使用した商品の加工・販売事業	構成員が個々に生産する農産物を持ち寄り農産物の特性を活かした商品開発を行い、直売所で販売するほか、移動販売及び委託販売を行う。 具体的には、米・トマトを使用したピタパン、ほうれんそう・トマト・とうもろこし・枝豆を使ったスコーンの開発・生産により、付加価値を高めることで農業経営の改善を図る。	有限会社緑友会六輪村	北斗市	H23.5	
9	地域の特産品であるりんごを利用した商品の加工・販売事業	規格外品による新たな加工品として、規格外りんごや七飯町の特産である人参の規格外を使った「リンゴジュース」、「ミックスジュース」の商品開発・生産を行うことにより付加価値を高め、販売ルートの増加、経営の多角化により、農業経営の改善を図る。	宮後 英子	亀田郡七飯町	H23.5	
10	自社牧場の生乳を100%使った牛乳とチーズの加工・販売事業	牧場の生乳を使用したノンホモジナイズ（均一化処理をしない）牛乳とナチュラルチーズを新たに商品開発・生産し、現在行っている体験牧場事業と併せて展開していく。 また、商品については一般消費者向けだけでなく、お土産や贈答用に適した商品開発を行い販路を拡大することにより、農業経営の改善を図る。	旭川あらかわ牧場合同会社	旭川市	H23.5	
11	自社生産「サロマ和牛」の内臓肉を利用した新商品の加工・販売	「サロマ和牛」の内臓肉を自らが下処理・加工・販売を行う。 具体的には、下処理済内臓肉を加工・販売、また、味付きホルモンの製造・販売を行うことで、経営の多角化・高度化を図る。また、販路開拓、販売管理について促進事業者の支援を受けつつ消費者との双方向の情報発信を行うことにより、「サロマ和牛」だけではなく「サロマ牛」「サロマ黒牛」を含めたトップファームブランド全体のイメージ向上につなげていく。	サロマ牛肥育センター有限会社	常呂郡佐呂間町	H23.5	【促進事業者】株式会社オックス

■総合事業計画

令和6年3月29日現在

No.	事業名	事業の概要	認定事業者	市町村	認定年月	備考
12	自社生産「未来めむろ牛」の活用と「未来めむろファーム」開設による加工・販売事業	十勝地方の広大な土地で飼養された肉牛を使用して加工品の開発・生産を行い、インターネット販売をはじめ、レストランや直売所を併設した「未来めむろファーム」を開設して消費者との交流を展開する。 具体的には、精肉販売のほか、地域の食材も活用したハンバーグ・カレーの商品開発を行い自社直売所等で販売していくことなどにより、農業経営の改善及び地域の活性化を図る。	株式会社大野ファーム	河西郡芽室町	H23.5	【促進事業者】株式会社オックス
13	自社生産農産物を活用した特色ある新商品開発と加工・販売事業	自社で生産した農産物を活用した商品を開発・生産するとともに、商品を直接消費者へ提供・販売するためのカフェや直売所を設置し、地元農業者や消費者との交流を展開する。 具体的には、いもだんご・かぼちゃだんごなど、地域の特色を活かした商品開発による農業経営の多角化・改善及び地域活性化に貢献していく。	株式会社 K'S FARM	帯広市	H23.5	
14	規格外人参を利用した加工・販売事業	廃棄、無償又は低価格で取引されている規格外人参を活用した商品開発及び販路の開拓を行う。 具体的には、人参酢などを商品開発・生産するとともに、新たな販売ルートを構築することによって、新たな事業を創出し、組合員個々の所得の向上を図る。	音更町農業協同組合	河東郡音更町	H23.5	
15	新規作物としてのイチゴの生産開始及び農産物の直接販売事業	北海道の地で通年栽培を計画しているイチゴ（新規作物）や、従来市場出荷しているメロン、ブロッコリーを、直売所を通して消費者へ直接提供していく。 具体的には、促進事業者が飲食兼直売施設を設置して申請者の調達する農産物を販売していくことにより、農業経営の改善を図る。	富良野ピュアティスト有限公司	富良野市	H23.5	【促進事業者】株式会社イエロー・ブリック・ロード
16	特殊分割部分肉規格・北海道産食肉を原料とした食肉加工品の開発等事業	既存部分肉を再分割した特殊分割規格を定め、市場ニーズに対応した特殊分割部分肉の開発と普及、牛肉を原料とした食肉加工品の開発とともに新規販売ルートの開拓を行う。 具体的には、焼材、味付きカルビ、ハンバーグなどの使い勝手の良い商品の開発を行い販路を拡大することにより、肉畜生産者手取りの底上げを図る。	ホクレン農業協同組合連合会	札幌市	H23.5	
17	長芋の海外輸出の開始による販路拡大に係る事業	自社で生産している長芋の新たな販売方式として、海外への輸出を行うことで経営の多角化を図る。 具体的には、徹底した品質管理を行って付加価値を向上させることで、自社ブランドの確立を目指すことにより、農業経営の改善を図る。なお、将来的には、地域の生産者も一体となった輸出体制の確立も目指す。	株式会社ファームハウスひばる	網走郡美幌町	H23.5	
18	北海道産のブドウを原料とした高品質ワインの醸造・販売	北海道産の醸造用ぶどうから品質を重視したワインづくりを行い、一般消費者への直販、ネット販売等多角的な販売ルートを構築していく。 具体的には自社畑及び近隣ぶどう農家等が生産したソーヴィニヨン・ブラン、ピノ・ノワールを使用し、自らのワイン醸造技術を活かした高品質なワイン及びスパークリングワインの醸造・販売を行うことにより、新事業の創出、また、ワインツーリズムの活発化につなげる。	合同会社10R	岩見沢市	H23.7	
19	「自社ブランド」ホエー放牧豚を使った新商品の開発及び販売拡大	自社ブランドである「ホエー放牧豚」とさらに肉質と旨味の向上を図った「ホエー放牧熟成豚」を活用し、新商品の開発・生産を行う。 具体的には、精肉、バラロースト、豚豚（チャーシュー）、ソーセージパテ、ロースハムの開発・加工を行うとともに、直売店やインターネットでの販売など販路拡大にも取り組むことにより所得向上を図る。	有限会社ひだかポーク	日高郡新ひだか町	H23.10	
20	エコフィードの給餌による特殊鶏卵を活用したスイーツの開発・販売事業	自社ブランド鶏卵を活用し、新たにスイーツの商品化を行う。 具体的には、地域で生産されるケールの搾りかすを活用したエコフィードの給餌による自社鶏卵を使用し、自社ブランドスイーツの第一弾として「卵形バウムクーヘン」を開発・生産を行うことにより、所得向上と地域の活性化を目指す。	株式会社さくらファーム	千歳市	H23.10	【促進事業者】有限会社ココ・コーポレーション
21	自社で生産された小麦の加工品（パン、菓子パンなど）の開発及び販売事業	石臼で製粉した自社の小麦粉を活用し、パン・菓子パンなどの新商品開発を行う。 具体的には、パン、菓子パン、シフォンケーキを新たに開発・生産し、自社経営のそば屋やファームレストラン、インターネットを通じて販売・提供するなど、販路の開拓にも取り組む。	アオキアグリシステム有限公司	虻田郡倶知安町	H23.10	
22	自社生産原料乳を活用した菓子類の開発及び自社短角牛の商品化事業	自社生乳と自社短角牛を活用し、商品開発・販売を行う。 具体的には、地域のニーズに応え、自社生乳から牛乳、ソフトクリームミックス、ミルククッキー、自社短角牛からカット生肉、ステーキ料理を開発し、自社店舗などを通じて販売していく。	有限会社伊藤畜産	根室市	H23.10	

■総合化事業計画

令和6年3月29日現在

No.	事業名	事業の概要	認定事業者	市町村	認定年月	備考
23	自家生産の小麦・カボチャ・人参を活用した高付加価値商品の開発・販売事業	自家生産の小麦、カボチャ、人参を活用し、新たにうどんなどの開発・生産を行う。 具体的には、手打ち風うどん、カボチャプリン、人参ジュースの開発・生産を行うとともに、消費者との交流を軸に直売も含めた販路拡大にも取り組む。	内海 将仁	北見市	H23.10	
24	馬鈴薯・レタス・大根の剥き野菜・カット野菜加工及び販売事業	自社構成員が生産した馬鈴薯・レタス・大根を活用し、剥き野菜・カット野菜の加工・販売を行う。 具体的には「剥き馬鈴薯」、「カットレタス」、「剥きカット大根」といった一次加工の付加価値を付け販売していくことにより、構成員の所得向上及び自社の多角化・高度化を図る。	株式会社吉田農園	網走郡大空町	H23.10	【促進事業者】株式会社桐越
25	規格外の活用による剥き馬鈴薯及び長いも餅の開発事業	自社構成員が生産した馬鈴薯・長芋の規格外を有効活用した加工・販売、規格外長芋の直接販売を行う。 具体的には、「剥き馬鈴薯」や「長いも餅」の開発・生産を行うとともに、規格外長芋をアウトレットブランドとして直接販売することにより所得の向上を図る。	株式会社大地のMEGUMI	網走郡大空町	H23.10	
26	育成・肥育一貫による自社ブランド和牛の確立と生産・販売事業	和牛(素牛)の市場出荷から、新たに開始する一貫飼養による「自社ブランド和牛」を新たな方式により販売していく。 具体的には、地元焼肉店との契約取引を開始し、市場価格の影響を受けにくい安定的な販売ルートを構築することにより経営改善を図る。	中野 克巳	北見市	H23.10	【促進事業者】株式会社田村精肉店
27	バラ栽培とオイル抽出・エディブル(食用バラの花弁)の加工・販売事業	寒暖の差が大きいオホーツク地域の気候に適した自社無農薬栽培のバラを活用し、新たな商品開発・販売を行う。 具体的には、地域の大学など関係機関とも連携しつつ、希少性のある「ローズオイル」、「ローズウォーター」、「エディブル(食用バラの花弁)」を開発・生産し、香料会社、理美容関係企業等への販路開拓を目指す。	株式会社ローズファームきたみ	北見市	H23.12	【促進事業者】特定非営利活動法人北福人
28	加工向けの南瓜や人参、馬鈴薯等を活用した野菜加工及び販売事業	自社構成員や地域の農業者が生産する規格外も含めた南瓜・人参・馬鈴薯・スイートコーンを活用し、加工野菜の生産・販売を行う。 具体的には、「カット野菜」、「野菜ペースト」、「ポイルバック」などの一次加工による付加価値を加味した販売を行うことにより、自社及び地域農業者の所得の向上ひいては地域の活性化を目指す。	株式会社恵み野ファーム	上川郡和寒町	H23.12	
29	自社生産の富良野産「ノルユタカ」や「きたほなみ」を使用したパン・スイーツの商品開発及び販売事業	自社生産小麦(「ノルユタカ」、「きたほなみ」)を活用し、新たにパンや菓子類の商品開発・生産・販売を行うことにより、新事業を創出し雇用の拡大を図る。 具体的には、まぼろしの小麦と言われる「ノルユタカ」を使用した「パン」や「きたほなみ」を使用した「クッキー」「ロールケーキ」を開発・生産し、今後設置を予定している自社直売所兼カフェや自社ホームページなどを通して販売していく。	有限会社興農社	空知郡上富良野町	H24.2	
30	ミニサイズのだまねぎやジャガイモを用いた加工野菜の開発および販路開拓事業	自ら生産するたまねぎやジャガイモの規格外品を活用し、新たに1次加工・販売することにより所得の向上を図る。 具体的には、真空パック詰めした「皮むきたまねぎ」「皮むきじゃがいも」を開発・生産し、一般消費者向け及びホテルなど業務用として販売していく。	森井 克幸	岩見沢市	H24.2	
31	農家のオリジナルブランド「小麦粉」及び「蕎麦粉」の商品開発・販売事業	自ら生産する小麦、蕎麦を活用し、新たに小麦粉、蕎麦粉の開発・生産・販売を行うことにより所得の向上と経営改善を図る。 具体的には、3農家共同の農家オリジナルブランド商品として「小麦粉」「蕎麦粉」を開発・生産し、道の駅、パン屋、蕎麦屋をターゲットに販売していく。	・田中 哲夫 ・西島 努 ・松岡 和博	石狩郡新篠津村	H24.2	
32	北海道唯一のうずら卵と肉を活用した新商品開発・販売事業	自社生産うずら卵、うずら肉を活用し、新たにアイスクリームなどの商品開発・生産・販売を行うことにより農業経営の改善を図る。 具体的には、うずら卵から「うずらのアイスクリーム」、「うずらのロールケーキ」、うずら肉から「うずら肉味付炭火焼」を開発・生産し、百貨店での物産展や既存の販路のほか新規取引先の拡大・道外への販路拡大に取り組む。	株式会社室蘭うずら園	室蘭市	H24.2	
33	自社生産の赤井川産『そば』『米』による新商品の生産・販売促進事業	自社生産するそば、玄米を活用し、新たに製粉・販売を行うことにより経営の改善・所得の向上を図る。 具体的には、「そば粉」「米粉」を開発・生産し、促進事業者への販売のほか道の駅の活用など販路拡大に取り組む。	農事組合法人ロックスプリング農場組合	余市郡赤井川村	H24.2	【促進事業者】株式会社フライヤーズカンパニー

■総合化事業計画

令和6年3月29日現在

No.	事業名	事業の概要	認定事業者	市町村	認定年月	備考
34	宇野牧場の放牧牛から生産される生乳を利用した「ミルク豆腐」の加工・販売事業	自ら生産する生乳を活用し、新たにスイーツの商品開発・生産・販売を行うことにより農業経営の改善を図る。 具体的には、放牧牛の生乳の風味を活かした「ミルク豆腐」を開発・生産し、販売については、ネット販売、道の駅を想定するとともに、催事等に出展するなど販路開拓に取り組む。	株式会社宇野牧場	天塩郡 天塩町	H24. 2	
35	自社生産の「そば」と「米」を活用した新たな加工商品開発・販売事業	自社生産するそば、米を活用し、新たにそば粉などの商品開発・生産・販売を行うことにより農業経営の安定化を図る。 具体的には、「そば粉」「生そば麺」と「米粉」「生米粉麺」を開発・生産し、自社のそば店での販売のほか、インターネット販売及びスーパーへの販売を行っていく。	有限会社新拓興業	久遠郡 せたな町	H24. 2	
36	登別・室蘭産の生乳を使用した機能性チーズの加工・販売事業	構成員が生産する生乳を使用し、新たにチーズの商品開発・生産・販売を行うことにより農業経営の改善を図る。 具体的には、生乳を使用した「フレッシュチーズ」「プロセスチーズ」「ソフトチーズ」「ハードチーズ」を開発・生産し、既に実施している直売での販売のほか道の駅や百貨店での販売を目指す。	株式会社のぼりべつ酪農館	登別市	H24. 2	
37	自社生乳を活用したラクレットチーズとミモレットチーズの開発・販売事業	自ら生産する生乳を活用し、新たなチーズの開発・生産・販売を行うことにより酪農経営の改善を図る。 具体的には、「ラクレットチーズ」「ミモレットチーズ」を開発・生産し、百貨店やホテル、地域のレストランといった既存の販路のほか、インターネット販売など新たな販路開拓を行っていく。	有限会社富田ファーム	紋別郡 興部町	H24. 2	
38	石田めん羊牧場産羊肉を活用した新商品開発・販売及び自社レストランメニュー開発・提供事業	構成員が生産する羊肉を活用し、ラムカレーなど自社レストランにおける提供と加工品の開発・生産・販売を行うことにより農業経営の改善を図る。 具体的には、開業予定の自社レストランのメニューとして「ラムカレー」「ラムのテリーヌ」などの提供を行うとともに、「レトルトカレー」「ハンバーグ」などの新商品を開発・生産し、レストランでの直売と通信販売に取り組む。	株式会社SD企画	足寄郡 足寄町	H24. 2	
39	標茶町の新鮮な生乳を使用したチーズの製造・販売事業	構成員が生産する生乳を活用し、新たにチーズの開発・生産・販売を行うことにより構成員の農業所得向上を図る。 具体的には「モツアレチーズ」「ストリングチーズ」「クリームチーズ」などのチーズを開発・生産し、既存の販売ルートのほかインターネット販売に取り組む。	有限会社風牧場	川上郡 標茶町	H24. 2	
40	自然エネルギーを利用した本わさび・しいたけ等の商品開発・加工・販売	自社生産する本わさび等を活用し、新たに漬物等商品の開発・生産・販売を行うことにより農業所得の向上を図る。 具体的には、本わさび、ギョウジャニンニク及びワドを使用した漬物や原木しいたけを乾燥させた「乾燥しいたけ」を開発・生産し、直売所での販売及びネット通販を行う。	北王農林株式会社	中川郡 幕別町	H24. 2	
41	十勝・更別産ゆめちからの小麦粉製造・販売事業	自社生産の小麦「ゆめちから」を活用し、新たにパン用小麦粉の製造・販売を行うことにより農業所得の向上を図る。 具体的には、自らが生産・収穫・乾燥・製粉を行うこだわりの「パン用小麦粉」を製造し、地域のパン店や食品メーカーに販売していく。	株式会社泰章農場	河西郡 更別村	H24. 2	
42	ブランド豚『ホエー豚』を原料とする新商品の加工・販売事業	自社生産する豚肉を活用し、新たに総菜等の商品開発・生産・販売を行うことにより経営の多角化を図る。 具体的には、ホエー豚を原料とした「メンチカツ」「コロッケ」「肉巻おにぎり」「ホエー豚使用惣菜」を開発・生産し、百貨店など新たな販路構築に取り組む。	株式会社花畑牧場	河西郡 中札内村	H24. 2	【促進事業者】 株式会社花畑牧場 夕張
43	自社生産の野菜を活用した新たな野菜ジャムの開発・生産および販売事業	自社生産する野菜を活用し、新商品の開発・生産・販売を行うことにより農業経営の改善を図る。 具体的には長ネギ、トマト、ほおずき、生姜のほか地酒も原料とした「ジャム」を開発・生産し、自社レストランやインターネットでの直販を行う。	かわにしのお丘しずお農場株式会社	士別市	H24. 2	
44	農産と海産のコラボレーションによる「海鮮おかゆ」の製造・販売事業	構成員が生産する米を活用し、新たに海鮮おかゆの商品開発・生産・販売を行うことにより経営改善と所得向上を図る。 具体的には、米を原料としたレトルトパック入り「鮭おかゆ」「蟹おかゆ」「ホタテおかゆ」「海老おかゆ」を開発・生産し、既存の取引先への販売のほか高齢世帯への宅配事業を行う。	株式会社北海道夢民村	旭川市	H24. 2	

■総合化事業計画

令和6年3月29日現在

No.	事業名	事業の概要	認定事業者	市町村	認定年月	備考
45	青大豆を使用した味噌の商品開発ならびにゆきひかりの米粉を使用したパンの商品開発・販売事業	自ら生産する米（ゆきひかり）、青大豆を活用した新商品の開発・生産・販売を行い、新しい利益の創出を目指す。具体的には、ゆきひかりを活用した「米粉パン」「シフォンケーキ」、青大豆を活用した「味噌」を開発・生産し、地元の直売所等で販売していく。	尾崎 浩	雨竜郡 北竜町	H24. 5	
46	自社生産の鹿肉を原料とした加工食品の開発・販売事業	自社で飼養したエゾシカの肉を活用した新商品を開発・製造・販売することによって経営体制の改善を図るとともにエゾシカ肉の普及を図る。具体的には、「ハム（生・加熱済）」「サラミ」「ジャーキー」を開発・生産し、既存の販売ルートのほか、道の駅などの特産品や外食向けとしても販売していく。	株式会社知床エゾシカファーム	斜里郡 斜里町	H24. 5	
47	鮑の完全陸上養殖ならびに加工事業施設の構築と自社及び地場産品を活用した同加工施設の通年活用に関する事業	自社で漁獲した鮭、養殖したアワビ及び構成員が漁獲したホッキ貝を活用した新商品の開発を行い、経営の多角化・高度化を図り収益と雇用の安定化を図る。具体的には、鮭を活用して「鮭フィレ」「鮭とば」「イクラ加工品」を、鮑を活用して「乾鮑」を、ホッキ貝を活用した「冷凍ホッキむき身」「ホッキカレー」を開発・生産し、卸売業者へ販売していく。	鳥越漁業株式会社	苫小牧市	H24. 5	
48	辻野ポーク有限会社が自社農場で生産した豚肉の加工・販売事業	自社で生産した豚を活用した新商品を開発・生産・販売することにより、経営の多角化と農場経営の改善を目指す。具体的には、豚枝肉から「カット肉」「豚串」を開発・生産し、直売所や移動販売車で販売していく。	辻野ポーク有限会社	虻田郡 留寿都村	H24. 5	
49	自社生産のにんにくを利用した新商品の開発、加工及び販売事業	自社で生産したにんにくを活用した新商品を開発、江差町の特産品として販売することにより、所得の向上を目指す。具体的には、にんにく醤油ベースの「イカ飯」「ジンギスカン」及びにんにくを入れた「たい焼き」の真空パック入り冷凍品を開発・生産し、インターネットや直売所で販売していく。	株式会社品川甚作農園	檜山郡 江差町	H24. 5	
50	自社が生産する有機栽培ブルーベリーを使用した商品の加工・販売事業	自社栽培のブルーベリーを活用した新商品の開発・生産・販売を行い、経営の多角化・高度化を図る事で、収益の向上と農業経営の改善を目指す。具体的には、「ジェラート」「ブルーベリージャム」「ブルーベリーソース」を開発・生産し、自社観光農園での直売やインターネットで販売していく。	有限会社ベリーファーム	千歳市	H24. 5	
51	大豆のμフーズ（超微細粉末）を利用した半固形状大豆ドレッシングの製造販売	自社で生産した大豆を活用した新商品を開発・製造・販売することにより、所得の向上を目指す。具体的には、大豆の超微細粉末をさらに加工した「大豆ドレッシング」を食品メーカーやホテル等の業務用や小売販売を行い、輸出も目指していく。	株式会社イソソブアグリシステム	北見市	H24. 5	
52	自家栽培の果実の搾汁残渣を活用した新規加工食品の開発・販売事業	自ら生産するぶどう及びりんごを活用した新商品を開発、販売することにより、農場経営の改善と安定化を図る。具体的には、八剣山ファームが生産するぶどうの搾りかすを活用した「クッキー」「パン」「ガレット」「ピネガー」、瀬戸修一が生産するりんごを活用した「りんごジュース」、りんごの搾りかすを活用した「クッキー」「パン」「ガレット」を開発・生産し、自社ブランド商品として、地元札幌圏の温泉宿泊業者や生協などへ販売していく。	・株式会社八剣山ファーム ・瀬戸 修一	札幌市	H24. 5	【促進事業者】 株式会社八剣山さっぽろ地ワイン研究所
53	スイートコーンの加工及び販売についての事業	組合員が生産するスイートコーンを活用した新商品を開発し、販売することにより、収益の向上を目指す。具体的には、「ホールコーン」「焼きとうもろこし」の冷凍食品を開発、地元商工会のイベント等で直接販売していく。	安平加工スイートコーン生産組合	勇払郡 安平町	H24. 5	【促進事業者】 株式会社モリタン
54	自ら生産するトマトを活用した新たなトマトソースの開発および販売事業	自社生産のトマト生産の知名度向上を目指し、新商品の開発を行って安定的な販路を確保し、収益確保を目指す。具体的には、「トマトソース」を開発・生産し、通販事業や飲食店への販売を行っている。	株式会社ビオファーム大地	岩見沢市	H24. 5	【促進事業者】 株式会社北前船
55	自社生産である富良野産の玄そばを使ったそば粉ならびに製麺への加工・販売事業	自社生産の玄そばを活用した新商品の開発・生産・販売を行い、自社経営の所得向上と経営の安定化を図る。具体的には、「そば粉」「そば（乾麺）」の開発・販売を行い、地元富良野での販売をはじめネット販売などの販路拡大を行っている。	有限会社井上農産	富良野市	H24. 5	

■総合化事業計画

令和6年3月29日現在

No.	事業名	事業の概要	認定事業者	市町村	認定年月	備考
56	自社生産の生乳及び肉用牛を原料とした乳製品・菓子製品・肉製品の開発、及び加工・販売事業	<p>自社生産の生乳及び肉用牛を活用し、消費者ニーズに対応した新商品を開発・製造・販売することにより売上高の向上及び雇用の増大を図り、酪農経営の発展と豊かな地域社会の創造を目指す。</p> <p>具体的には、生乳を活用した「冷凍プリン」「サブレー」「マドレーヌ」「ヨーグルト（無糖・低糖分・果実入り）」「ハンバーグ（加熱調理済・煮込み）」「メンチカツ」を開発、直営の店舗や量販店に販売していく。</p>	ノースブレインファーム株式会社	紋別郡興部町	H24.5	
57	自社収穫の葡萄を活用した自社ブランドワイン、ジュース、健康酢等の開発・販売事業	<p>自社で生産した葡萄を活用した新商品の開発・生産・販売を行い、農業経営の基盤を強化する。</p> <p>具体的には、ワイン専用葡萄を活用したワイン、ジュース、健康酢を開発・生産し、直売所、インターネットで販売していく。</p>	有限会社鶴沼ワイナリー	樺戸郡浦臼町	H24.6	【促進事業者】北海道ワイン株式会社
58	自社で生産した馬鈴薯の選外品を活用した「カップグラタン」の開発・販売事業	<p>自社で生産した馬鈴薯を活用した新商品の開発・生産・販売を行い、農産物の付加価値向上と農業所得の確保を図る。</p> <p>具体的には、馬鈴薯の選外品を活用した「カップグラタン」を開発・製造し、近隣の飲食店のほか道の駅等で販売していく。</p>	株式会社清流農園	網走郡美幌町	H24.10	【促進事業者】株式会社ウエニシ・合同会社大地のりんご
59	自社養殖したナマコを利用した加工・販売事業	<p>自社で養殖したナマコを利用した、新商品開発、生産、販売を行なうことにより、付加価値を向上し経営強化を図る。</p> <p>具体的には、ナマコを原料とした、「真空凍結乾燥ナマコ」の商品開発を行ない、中国市場へ販売を行っていく。</p>	株式会社マルハニチロ上ノ国海産	檜山郡上ノ国町	H24.10	
60	黒毛和牛とラズベリーを活用した新商品の開発と販売	<p>組合員が生産した黒毛和牛とJ Aが生産したラズベリーを活用した新商品開発・製造・販売を行い、収益向上を図る。</p> <p>具体的には、黒毛和牛を原料とした「ハンバーグ」、ラズベリーを活用した「ジャム」及び「ステーキソース」の製造を行い、阿寒湖畔のホテルやJ A店舗で販売を行っていく。</p>	阿寒農業協同組合	釧路市	H24.10	
61	規格外人参（有機人参）を活用した有機人参ジュース用のカット一次加工品の開発・製造・販売事業	<p>構成員が生産した有機農産物を活用した新商品開発・加工・販売を行い、農業所得の向上と農業経営の改善を図る。</p> <p>具体的には、選外品と廃棄していた有機人参を活用し、「有機人参ジュース用カット加工品」を開発・加工して有機食品の製造業者等へ販売を行っていく。</p>	株式会社大雪を囲む会	網走郡美幌町	H24.10	
62	自社生産の羊と地鶏鶏卵を利用した製品の開発、加工、販売事業	<p>自社で生産した羊肉と地鶏鶏卵を利用した新商品開発、生産、販売を行い、収益確保と農業経営の改善を図る。</p> <p>具体的には、「羊肉ハンバーグ」、「地鶏鶏卵プリン」、「羊乳ヨーグルト」の開発、生産し卸販売やイベントでの直売に加え、自社直売所で販売を行っていく。</p>	株式会社西川農場	美幌市	H24.10	
63	自社生産した肉牛の部位肉や内臓肉を利用した新商品の開発、加工、販売事業	<p>自社で生産した牛を活用した新商品の開発、生産、販売を行い、農業経営の改善を図る。</p> <p>具体的には、スライス肉を飲食店に販売するほか、低利用部位肉や内臓肉を原料として「ハンバーグ」、「味付モツ」を開発、販売することで品目の多様化を図り販路拡大及び所得の向上を目指していく。</p>	株式会社平野畜産	二海郡八雲町	H24.10	
64	ナタネ・そばの品質管理の高度化による付加価値向上事業	<p>組合員が生産したナタネ・そばについて、雪を利用した低温保管倉庫による品質管理の高度化を実現し、品質劣化の防止や出荷時期の調整により販売単価の上昇を図り、所得の向上を目指していく。</p>	たきかわ農業協同組合	滝川市	H24.10	
65	オホーツクパンプキンの「過熱水蒸気を活用した冷凍カットかぼちゃ」の開発・加工・販売事業	<p>構成員が生産したかぼちゃ「オホーツクパンプキン」を活用した新商品の開発・加工・販売を行う。</p> <p>具体的には、旨みや栄養を逃がさないなどのメリットがある過熱水蒸気を活用した「冷凍カットかぼちゃ」を開発・製造し、スーパーや外食産業などに販売することにより、オホーツクパンプキンのブランド評価を高めるとともに、農業所得の向上を図る。</p>	株式会社フジイシ	網走市	H25.2	
66	自社産の有精卵を使用した新しい洋菓子の開発・製造・販売事業	<p>自社生産の有精卵を活用した新しい洋菓子の開発・生産・販売を行う。</p> <p>具体的には、平飼いによるストレスがたまらない環境で、抗生物質を使用せず飼養された親鶏から生産された有精卵を使用した「ロールケーキ」、「シュークリーム」を開発・生産し、直営店にて直売を行い収益向上と農業経営の改善を図る。</p>	株式会社永光農園	札幌市	H25.2	

■総合化事業計画

令和6年3月29日現在

No.	事業名	事業の概要	認定事業者	市町村	認定年月	備考
67	自社生産の有機小麦を活用した缶詰パン・パン・クッキーの開発・生産・販売事業	自社生産の有機小麦を活用した新商品の開発・生産・販売を行う。 具体的には、有機小麦を特殊な技術で自社製粉した小麦粉から「缶詰パン」「パン」、「クッキー」を開発・生産し、新設する自社パン工房兼店舗での販売することにより、収益を確保し、農業経営の安定を図る。	有限会社菅農企画	上川郡 比布町	H25.2	
68	放牧主体の健康な乳牛から搾乳した自社生乳を使った乳加工製品の開発・生産・販売事業	自社で生産した生乳を活用した新商品開発・製造・販売を行い、事業規模の拡大・食品加工による付加価値向上を図る。 具体的には、生乳を原料とした「ドリンクヨーグルト」の製造を行い、札幌市の大手洋菓子メーカーへの卸売りのほか、黒松内町学校給食センター・道の駅などでの販売を行う。	株式会社TOMONI ゆめ牧舎	寿都郡 黒松内町	H25.2	
69	自社生産の豚を用いた長期冷蔵熟成プロシュートと豚肉加工品の開発・加工・販売事業	自社生産の放牧豚を活用した生ハム等の新商品の開発・加工・販売を行う。 具体的には、肥育する豚種をケンボロー豚からシュベーパーピッシュナル豚に切り替え、「プロシュート(モモ肉の生ハム)」「精肉」「ラックスシケン(ロースの生ハム)」「パンチェッタ(バラの生ベーコン)」「白サラミ」に加工し販売することにより、収益性の向上と経営の安定化を図る。	株式会社エルパン	中川郡 幕別町	H25.2	
70	サケを原料とした鮭節の開発・生産・販売事業	フナ化し低価値となっている「サケ」を活用した新商品の開発・生産・販売を行う。 具体的には、サケを原料とした「鮭節」を開発し販売する。開発する新商品については、業務用での販売の他、既存の販路や直売所を生かし販売していくことにより、漁業経営の改善を図る。	八雲町漁業協同組合	二海郡 八雲町	H25.2	
71	自社生産した肉牛の内臓肉を利用したホルモンハンバーグと内臓肉冷凍スライスの開発・加工・販売事業	自社生産した肉牛の副産物である内臓肉を活用した新商品の開発・加工・販売を行うことにより、経営の多角化・改善を図る。 具体的には、「ホルモンハンバーグ」「内臓肉冷凍スライス」を開発・加工し、自社直営ホルモン焼肉店を出店して提供するとともに、飲食店等の業務用として卸売を行う。	株式会社キャトルシステム	帯広市	H25.5	
72	自社産水牛の生乳を使用した乳製品の開発・加工・販売事業	自社生産の水牛の生乳を活用した新商品の開発・加工・販売を行うことにより、収益の確保と経営の改善を図る。 具体的には、生乳を活用した「モツアアラチーズ」「ゴルゴンゾーラ」「ブルーチーズ」「白カビチーズ」「バター」を開発・加工し、レストランや製菓業者への卸売を行う。	株式会社大樹農社	中川郡 幕別町	H25.5	
73	自社生産の玄そばを使用したそば粉への製粉加工及びそば乾麺・そばパスタの開発・加工・販売事業	自社生産のそばを活用した新商品の開発・加工・販売を行うことにより、収益の確保と経営の改善を図る。 具体的には、そばを「そば粉」へ製粉するとともに、そば粉を活用した新商品として「そば乾麺」や「そばパスタ」を開発・加工し、そば店やインターネット等での販売を行う。	有限会社大石農産	広尾郡 大樹町	H25.5	
74	自社生産の大型しいたけを用いた乾燥しいたけ・粉末しいたけの開発・製造・販売事業	自社生産の大型しいたけ「王様しいたけ」を活用した新商品の開発・製造・販売を行い、所得の向上と経営の安定を図る。 具体的には、大型しいたけを用いた「乾燥王様しいたけ」の開発・製造及びその製造過程から発生する乾燥くずから「粉末しいたけ」を開発・製造し、小売店・飲食店へ販売を行うほか、自社HPを活用したインターネット販売も行う。	有限会社福田農園	亀田郡 七飯町	H25.5	
75	余市町のワイン用ぶどうだけを使ったワイン製造と地場産食材を使ったレストラン、自家製ワインや地場産野菜、果物、水産加工品などを販売する売店等の複合事業	北海道余市町のワイン用ぶどうを使ったワイン製造と地場産食材を使ったレストラン運営、自家製ワインや地場産野菜、果物及び水産加工品などを販売する売店等の複合事業	株式会社OcciGabi Winery	余市郡 余市町	H25.9	★ファンド出資案件
76	十勝の菜種と亜麻を用いた加工食品及び絞りに粕飼料の開発・製造・販売事業	出資農業者の生産する菜種及び亜麻を活用した加工食品及び絞りに粕飼料の開発・加工・販売を行うことにより、収益向上と十勝の農産加工品の販路拡大を図る。 具体的には、「菜種油」「菜種油のバジルオイル」「菜種油のガーリックオイル」「菜種絞りに粕飼料」「食用亜麻仁油」「ペット用亜麻仁油」「亜麻絞りに粕飼料」「亜麻入り小麦粉」を開発・加工し、スーパーや道の駅などでの販売を行う。	十勝農工房株式会社	帯広市	H25.10	
77	自社生産の豆類を活用した和・洋菓子類の開発及び販売事業	自社生産の黒大豆、小豆を活用した新商品の開発・加工・販売を行うことにより、農業経営の改善と展開を図る。 具体的には、「豆パンケーキ」「黒豆バターケーキ」「どらやき」「豆ロールケーキ」「豆タルト」を開発・加工し、スーパーマーケットやインターネットなどで販売を行う。	株式会社A-Net ファーム十勝	上川郡 清水町	H25.10	

■総合事業計画

令和6年3月29日現在

No.	事業名	事業の概要	認定事業者	市町村	認定年月	備考
78	自家産トマトを使ったドライトマトの開発・製造・販売事業	自ら生産したミニトマトと大玉トマトを活用した新商品の開発・加工・販売を行うことにより、収益を確保し、農業経営の安定を図る。 具体的には、「乾燥ミニトマト」「乾燥大玉トマト」を開発・加工し、レストランやレストラン向け食材卸売業者へ卸売を行う。	青木 芳文	上川郡美瑛町	H25.10	
79	自家産青えんどうと白金時豆を使ったあんぱんの開発・製造・販売事業	自ら生産した青えんどう、白金時豆を活用した新商品の開発・加工・販売を行うことにより、安定的な収益の確保と農業経営の改善を図る。 具体的には、「あんぱん（青えんどう餡）」「あんぱん（白金時豆餡）」を開発・加工し、近隣住民への宅配販売やパークゴルフ場へ卸売を行う。	仁原 憲和	富良野市	H25.10	
80	自社生産の野菜を利用したカット野菜加工・販売事業	自社生産の馬鈴薯やにんじん・かぼちゃを活用した新商品の開発・加工・販売を行うことにより、所得の向上と経営の安定を図る。 具体的には、「カットじゃがいも」「カットにんじん」「カットかぼちゃ」「カレー用カット野菜セット」を開発・加工し、百貨店やスーパーなどへ卸売を行う。	合同会社三洋ファーム	函館市	H25.10	
81	新品種苺「信州B58-9」と「ラワンぶき」を利用した加工品開発・製造・販売事業	組合員が生産するラワンぶき及び苺を利用した新商品の開発・製造・販売するとともに、生ラワンぶきについて、特殊包装による鮮度保持技術を活用した品質管理の高度化（販売方式の改善）を行い収益性の改善を図る。 具体的には、ラワンぶきを利用した「サラダ用カットラワンぶき」「煮物用カットラワンぶき」「冷凍ラワンぶき夫ぶら」及び苺を利用した「苺ジャム」を開発・製造し、スーパーなどへ販売する。また、鮮度保持技術を活用し、北海道地域以外への生ラワンぶきの販売拡大を図る。	足寄町農業協同組合	足寄郡足寄町	H25.10	
82	自家栽培のハスカップを使用した新商品の開発・加工・販売事業	自家栽培のハスカップを活用した新商品の開発・加工・販売を行うことにより、収益の確保と農業経営の改善を図る。 具体的には、「ハスカップクレープ」「ハスカップコンポート」「ハスカップシロップ」「ハスカップ塩煮」を開発・加工し、クレープについては移動販売車で各種イベントや地域のショッピングモール等で消費者に直接販売する。また、その他商品については、道の駅等の既存商品の販路に対し卸売を行う。	山口 善紀	勇払郡厚真町	H25.10	
83	自社産の野菜を使ったさつぼろやさいも・さつぼろさつまあげ・さつぼろピザの開発・加工・販売事業	自社生産のサツマイモ、札幌八行（とうもろこし）、加工用トマト、バジルを活用した新商品の開発・加工・販売を行うことにより、所得の向上と経営の安定を図る。 具体的には、「さつぼろ焼き芋」「さつぼろさつまあげ」「さつぼろピザ」を開発・加工し、自店や提携飲食店への販売を行う。	株式会社フラワーファーム大花園	札幌市	H25.10	
84	規格外馬鈴薯を利用した惣菜用カット加工品の製造・販売事業	自社、構成農家及び近隣の農家が生産した馬鈴薯を活用した新商品の開発・加工・販売を行うことにより、所得向上による経営の安定化を図る。 具体的には、「惣菜用カット馬鈴薯」を開発・加工し、食品加工卸会社への販売を行う。	株式会社久島農産	岩内郡共和町	H25.10	
85	自家生産の生乳を使用したソフトクリーム等の開発・加工・販売事業	自家生産の生乳を活用した新商品の開発・加工・販売を行うことにより、収益の確保と酪農経営の改善を図る。 具体的には、「ソフトクリーム」「ソフトクリームミックス」を開発・加工し、ソフトクリームは、牧場の敷地内で直売を行う。また、ソフトクリームミックスは、ホテル及び飲食店への業務用販売を行う。	戸草 勢一	河東郡鹿追町	H25.10	
86	組合員が生産した小麦を活用した「ラーメン」を道の駅や製麺業者と連携して開発・製造・販売する事業	組合員が生産した小麦を活用した新商品の開発・加工・販売を行うことにより、美幌産小麦のブランド化や地産地消の推進を図る。 具体的には、「生ラーメン」「乾燥ラーメン」を開発・加工し、生ラーメンは道の駅のレストランでのメニューとして提供するとともに、乾燥ラーメンは地域の小売店やアンテナショップへの販売を行う。	美幌町農業協同組合	網走郡美幌町	H25.10	【促進事業者】 ・株式会社ツムラ ・株式会社美幌峠物産館
87	自社構成員が生産した小麦を活用した「乾燥うどん」を製麺業者と連携して開発・製造・販売する事業	自社構成員が生産した小麦「ノルユタカ」を活用した新商品の開発・加工・販売を行うことにより、農業経営の改善と所得の向上を図る。 具体的には、「乾燥うどん」を製麺業者と連携して開発・加工し、小売店や札幌市の百貨店及びネットショップ等で販売を行う。	有限会社三雄産業	網走郡美幌町	H25.10	【促進事業者】 株式会社マルフ製麺
88	自社生産した大根・トマト・バジル・落花生を用いた加工品の開発・製造・販売事業	自社で生産する大根を活用した「切干大根」と廃棄される大根の葉を活用した「大根の葉入浴剤」、さらにトマト、バジルを活用した「トマトソース」、「バジルソース」、落花生を活用した「煎り落花生」と「ピーナッツバター」の計6種類の新商品を開発・製造し、介護事業者への卸売や小売店での販売、また、自社ホームページも含めたネット販売を行い、収益性の向上と雇用の増加を図る。	有限会社大塚ファーム	石狩郡新篠津村	H26.2	

■総合化事業計画

令和6年3月29日現在

No.	事業名	事業の概要	認定事業者	市町村	認定年月	備考
89	自農場で生産した放牧豚「斜里山麓豚」を活用した生ハムの開発・製造・販売事業	自ら生産した放牧豚の様々な部位を活用した新商品を開発・製造・販売を行い、農業所得の向上を図る。 具体的には、放牧豚の肩コース、コース、バラを活用した「生ハム」を開発・製造し、自然食品専門店やレストラン、個人顧客などへの販売を行う。	田村 英士	斜里郡 斜里町	H26.2	
90	ジャージー乳とワインベリーを用いた加工品の開発・製造・販売事業	自社生産のジャージー牛の生乳を活用した新商品及び構成員が生産したワインベリーの果実を活用した新商品の開発・製造・販売を行うことにより、収益を向上し農業経営の安定を図る。 具体的には、「ミルクジャム」「ソフトクリームミックス」「ワインベリージャムソース」を開発・製造し、構成員が運営する直売所で販売するとともに、「ワインベリーソース」を食品製造業者へ卸売を行う。	株式会社はこだて Sinアグリファーム	函館市	H26.5	
91	自社生産の小麦と野菜を使用したパンの開発・加工・販売事業	自社で有機肥料を用い、農業の使用を減らして生産した小麦や、野菜を活用したパンを新商品として開発・加工・販売することにより、安定的な収益の確保と農業経営の改善を図る。 具体的には、「食パン」「フランスパン」「惣菜パン」等を開発・加工し、直営店舗で近隣住民等に販売する。	有限会社徳永農場	江別市	H26.5	
92	自家生産とうもろこしを利用した加工品の開発・販売事業	自ら生産したとうきび（黄色系、白色系）を活用した新商品の開発・販売を行うことにより、通年の収入源を確保し、所得の向上と農業経営の安定を図る。 具体的には、「レトルトとうきび」「フリーズドライとうきび」を開発し、自農場の農産物直売所で販売するとともに、道の駅、ゴルフ場、温泉施設等へ卸売を行う。	山田 誉	夕張郡 長沼町	H26.5	
93	自社生産の生乳と副産物の脱脂乳・小麦を用いた加工品開発・製造・販売、レストラン事業	自社生産の乳製品の副産物である脱脂乳を活用したヨーグルト、自社生乳を活用したスープ及び自社生産の小麦と乳製品を活用したメニューの開発・製造・販売を行うことにより、収益性の向上を図る。 具体的には、「ハードタイプヨーグルト」「冷凍スープ」を開発・製造し、自社店舗で販売するとともにコンビニ、百貨店等へ卸売を行う。また、「バスタセット」及び「パンノビザセット」を開発し、自社レストランで提供する。	株式会社町村農場	江別市	H26.5	
94	自社生産のもみじ鶏と鶏卵の加工品開発・製造・販売事業	自社生産の鶏卵と産卵鶏を活用した新商品の開発・製造・販売を行うことにより、直売所に来店する顧客を増やし、収益性を高めることで、農業経営の改善を図る。 具体的には、「玉子焼き」「串つくね」「ミートボール」「水炊きスープ」を開発し、自社の直売所、宅配、ネットショップで販売する。	株式会社太田 ファーム	江別市	H26.5	
95	構成員の生産した牛肉を使用した新商品の開発・加工・販売事業	自社の構成員及び構成員外の業者から仕入れた牛肉を活用した新商品の開発・加工・販売を行うことにより、収益の確保と農業経営の改善を図る。 具体的には、「ドライエイジングビーフ」を開発・加工し、首都圏等のレストランやホテル、ネットショップへ卸売を行う。	株式会社みどり工房	川上郡 弟子屈町	H26.5	
96	自社生産の生乳を活用した「ヨーグルト」「モッツアレチーズ」「ピザ」の開発・加工・販売事業	自社生産の生乳を活用した新商品及び自社生産の乳製品を活用したメニューの開発・加工・販売を行うことにより、農業所得の向上を図る。 具体的には、「ヨーグルト」「モッツアレチーズ」を開発・加工し、自社店舗兼カフェで販売するとともに、土産販売店やホテル等へ卸売を行う。また、「ピザ」を開発し、自社店舗兼カフェで提供する。	有限会社山川牧場 自然牛乳	亀田郡 七飯町	H26.5	
97	自社産の札幌黄を活用した「乾燥カット玉ねぎ」の開発・加工・販売事業	自社生産の「札幌黄」の規格外品を活用した新商品の開発・加工・販売を行うことにより、売上と所得の向上を図る。 具体的には、「乾燥カット玉ねぎ」を開発し、食品卸売業者、飲食店、ホテル等へ卸売を行う。	北海道アグリ企画 株式会社	札幌市	H26.5	
98	豚肉の卸売事業ならびにイートイン・直売所運営事業	養豚事業者が販売会社を設立、独自ブランドによる飲食店の出店、直売所・通販での直接販売、外食事業者等への卸売を通じて更なる販路拡大を目指す事業	株式会社ひこま豚	茅部郡 森町	H26.5	★ファンド出資 案件
99	構成員が生産した農産物を用いた加工品の開発及び販売事業	構成員が生産する「とうもろこし」「馬鈴薯」「南瓜」を用いて、新商品（コーンスープ、コーンクリーム、コーンプリン、とうきびチョコ、馬鈴薯スープ、南瓜スープ）を開発し、自社観光農園で直接販売するほか卸売販売を行い農業所得の向上を図る。 観光客や取引先の卸売業者等から評価の高い地元農産物を原料とした加工品が欲しいとのニーズが多くあることから、観光農園を運営する中で繋がりをもった食品製造業者等と連携をして新商品を開発し、上富良野を訪れる観光客をターゲットに年間を通じて味わえる上富良野の土産品として普及を目指す。	有限会社フラワ ランドかみふらの	空知郡 上富良野町	H26.10	

■総合化事業計画

令和6年3月29日現在

No.	事業名	事業の概要	認定事業者	市町村	認定年月	備考
100	自家生産の和菓を利用した高級菓子の開発・製造・販売事業	自ら生産した和菓、小麦、鶏卵、南瓜を用いて、新商品（かりんとう、栗ようかん、マロングラッセ、栗おこし、栗・豆のどん菓子、栗パウンドケーキ）の開発・製造を行い、主に高裕層をターゲットに高級菓子として販売することで加工事業を拡大させ、収益の向上と経営の安定化を図る。 具体的には、地域ぐるみで「和菓」のブランド化を推進するため行政やフードコーディネーターと連携し、「和菓（ぼろたん）」の高級感を活かした商品開発を行い、大手スーパー・アンテナショップ等への既存販路以外に、頒布会や会員制カタログに出品することで高級菓子市場への販路拡大を目指す。	水上 勝敏	夕張郡 栗山町	H26.10	
101	自社で生産している蜂蜜を利用した新商品蜂蜜バターの開発・販売事業	自社で生産した7種の単花蜜と百花蜜の蜂蜜を用いた新商品（蜂蜜バター）の開発、製造を行い、自社の農業体験農園の店舗や百貨店などで販売を行う。農業体験農園の施設は廃校となった小学校の校舎を活用し、遠心分離機を用いた採蜜体験やレストラン、オートキャンプ場などを備えており、新商品を販売することで集客力を高め、消費者の養蜂への理解を醸成するとともに、農業経営の改善と雇用の拡大を図る。	有限会社十勝養蜂園	河東郡 上士幌町	H26.10	
102	自社生産のトマト100%のトマトピューレの生産・販売事業	自社で生産するトマト（シシリアンルージュ等の数種類トマト）を用いて、新商品（トマトピューレ）の開発、製造を行い、主に首都圏の都市型小型店で販売を行うことで、農業経営の改善と所得の向上を図る。 具体的には、日本最北の地域で土づくりにこだわって生産した自社のトマトが首都圏の都市型小型店の顧客から高い評価を得ていることから、自社のトマトのみを原材料として食品添加物を使用しないトマトピューレを製造し、食生活の豊かさや自らの健康維持に関心がある家族層をターゲットに販売する。	株式会社フェアリーズファーム	枝幸郡 枝幸町	H26.10	
103	自社生産めん羊の未使用の内臓肉、端肉等を利用した加工品の開発・加工・販売事業	自社生産のサフォーク種めん羊の廃棄される内臓肉や端肉を用いて「ソーセージ」、「レバーペースト」及び「羊肉（燻製）」を開発・製造、販売する。 具体的には、廃棄している未使用部位を有効利用した加工品を試作し、高級旅館の食事にサンプル提供したところ、ギフト用品として購入したいとの声が多くあったため、めん羊肉の付加価値を高めることで、食の安全・安心を求める富裕層をターゲットに販路拡大を図り、売上・所得の向上及び地域雇用の確保を目指す。	有限会社拓美	檜山郡 厚沢部町	H27.2	
104	自社で有機栽培したくりりん南瓜を用いた加工品の開発・製造・販売事業	有機栽培で生産した南瓜を用いて「南瓜のマッシュ」、「南瓜のスライス」、「南瓜チップス」、「南瓜のパウダー」、「南瓜の皮ペースト」を製造・販売する。また、WEBでの直接販売を実施する。 生産する南瓜は高糖度で有機栽培であることから評判は高いが直販の体制が整わず卸売していた。また、近年生産量の減少が続いたことから付加価値を高める必要があると考え、糖度20度以上となる特徴を生かした商品を製造・販売するとともに、WEBでの直接販売を導入し付加価値と売上の向上を図る。	株式会社みよい	茅部郡 森町	H27.2	
105	構成員の米・黒大豆を用いた「おにぎり屋」の運営、ポップライスの開発・製造・販売事業	構成員が生産する米、黒大豆を用いた「おにぎり」の開発・製造を行い、「おにぎり屋」を運営するとともに、近年のポップコーンブームを背景に自社加工場で「ポップライス」の開発・製造を行い、直売所、土産店等で販売を行う。ラジオ番組で構成員のブランド米が取り上げられ、「米のリポーター」が増えたことを契機に、「道の駅」に飲食店兼直売所を構え、観光客をターゲットに販路拡大を図ることで、従業員の雇用と経営の安定化を目指す。	株式会社石橋グループ	樺戸郡 浦臼町	H27.2	
106	自家農場で生産したジャンボにんにくを活用した新商品開発と販売事業	自家農場で生産したジャンボにんにくを用いて、新商品（ジャンボにんにく味噌、ジャンボにんにく醤油）を開発し、土産店やスーパー等で販売するとともに、インターネットで販売することにより、農業経営の改善を図る。 ジャンボにんにくは、臭いが控えめで刺激が少なく、マイルドな味が特徴であり、健康に関心のある女性にも受け入れやすい商品として開発する。	笹谷 隆	爾志郡 乙部町	H27.2	
107	自社生産の豆類・馬鈴薯・南瓜を用いた加工品の開発・製造・販売事業	自社生産のペポカボチャの種、落花生、くるみ、黒大豆などの豆類、馬鈴薯、南瓜を用いて「ナッツ&ビーンズミックス」、「マッシュドポテト」、「マッシュドパンプキン」を開発・製造・販売する。燃料費等資材の価格高騰で、冬の野菜栽培の収益性が著しく悪化、収入源の創出と冬場の雇用を維持するために、加工品販売を強化し経営の安定化を図りたいと考えた。「ナッツ&ビーンズミックス」は100%北海道産原料を特徴として観光客をターゲットに、「マッシュドポテト、マッシュドパンプキン」は地産地消を目指す事業者へ向けて販売する。	株式会社小坂農園	勇払郡 むかわ町	H27.2	
108	自社生産の南瓜・馬鈴薯の規格外を活用した「スープの素」の開発・加工・販売事業	自社生産の規格外馬鈴薯・南瓜を用いて、「かぼちゃスープの素」、「じゃが芋スープの素」、「じゃが芋とサラサラレッドスープの素」、「じゃが芋とサラサラゴールドスープの素」の開発・製造を行い、卸売や自社レストランでの提供、イベント等での直売により、自社の収益性を高めるとともに契約栽培農家の所得向上を図る。 新商品は、安全・安心な食材を求める主婦層や健康志向の消費者をターゲットにマーケティング戦略を構築、新規販路開拓を推進するほかTV通販等により販路拡大を図る。	北海道三富屋株式会社	夕張郡 栗山町	H27.2	
109	自ら捕獲した鮭を活用した鮭ハンバーグの開発・加工・販売事業	自ら捕獲した鮭を用いて、新商品（鮭ハンバーグ）の開発・製造を行い、地元の商店、飲食店、道の駅等で販売することで、安定的な売上の確保と所得の向上を図る。 魚離れが進むなか、小さな子供のいる家庭や、ヘルシーで安全・安心な食材を求める家庭をターゲットに手軽で美味しく食べられる商品として開発し、学校給食センターや福祉施設等における地産地消メニューとしての利用も目指す。	椎久 慎介	標津郡 標津町	H27.2	
110	北海道産玄そばを活用したそば製粉・販売事業	北海道の玄そば生産者が、消費者の国産志向が高まる中、自らの生産物を含め北海道産そばを地元で製粉し、北海道産そばの付加価値向上及び販売拡大を行うことによって、北海道農業の振興を目指す事業	北海道そば製粉株式会社	苫小牧市	H27.2	★ファンド出資案件

■総合化事業計画

令和6年3月29日現在

No.	事業名	事業の概要	認定事業者	市町村	認定年月	備考
111	在来和種馬（どさんこ）を活用した集客方法を用いての、飲食・物販事業、食品加工事業運営による地元農産物の高付加価値化を目指す事業	北海道の生産者が、自らが運営を行う体験型観光施設を活用し、乗用馬の調教・販売、道産野菜を活用した加工品の販売・飲食店の運営を行う、農観連携による道南の地域活性化事業	株式会社どさんこ ミュゼ	亀田郡 七飯町	H27.2	★ファンド出資 案件
112	自社農場とJA等が連携して薬用作物（トウキ、シャクヤク、オタネニンジン）の生産拡大に取り組み、生薬の一貫加工・販売を行う事業の構築	国内外で漢方製剤等の原料となる生薬の需要が高まっている中、主要輸出国の中国では経済発展により国内の需要が増加、生薬の価格も上昇している。そのため、自社農場と道内のJA等が連携して薬用作物（トウキ、シャクヤク、オタネニンジン）の生産拡大に取り組み、自社の加工施設で一貫加工し、生薬として製薬会社に販売する。本事業を、薬用作物を生産する農業者の所得向上と冬期間の雇用創出を実現するモデル事業として取り組み、北海道における薬用作物の生産拡大の加速化に繋げる。	株式会社夕張ツムラ	夕張市	H27.6	
113	仁木町と周辺地域の果樹（ブドウ）を原料とした地元産ワインの生産・販売事業	北海道のぶどう生産者が、地元産ぶどうを原材料としたワインの醸造・販売を行うとともにワインを楽しむことができるレストラン・物販店等を運営し、パートナーの販路や広告宣伝力を活かして販路拡大を行うことで、原材料の付加価値向上を目指す事業	株式会社NIKIHills ヴィレッジ	余市郡 仁木町	H27.7	★ファンド出資 案件
114	北海道余市町産等のぶどうを活用したワインの製造・販売事業	北海道のぶどう生産者が、地元産ぶどう等を原材料とした高品質なワイン製造を行い、高級レストラン・ホテルへの販売やパートナーの販路を活かした販売を行うことで、生産から加工・販売へと繋がるバリューチェーンを形成し、原材料の付加価値向上を目指す事業	株式会社平川ワイナリー	余市郡 余市町	H27.7	★ファンド出資 案件
115	びえい和牛等美瑛産農畜産物を使用したオーベルジュ事業及び惣菜製造事業	北海道美瑛町の和牛・乳牛肥育農家が、自ら生産した「びえい和牛」をはじめとした町内産農畜産物を用いた料理を提供するオーベルジュ（宿泊施設付レストラン）及びデリカテッセンを展開することで、農畜産物の付加価値向上を目指す事業	美瑛ファーマーズ マーケット株式会社	上川郡 美瑛町	H27.8	★ファンド出資 案件
116	食の安全に関心のある消費者を対象に、有機栽培のトマトや野菜を使用したオーガニックジュース・離乳食の開発・製造・販売	自社の有機JAS認証野菜を用いて、「プレミアムトマトジュース」「ミックス野菜ジュース」「トマト離乳食」「ミックス野菜離乳食」の製造・販売を実施する。 新商品の販売については、既存販路の他、新規の販路先として幼児服店、道南の産婦人科や小児科、高齢者福祉事業所等に向け営業活動を行っていく。	株式会社しみず農園	北斗市	H27.10	
117	自社構成員が生産する玄そばを发芽させた「発芽そば粉」の開発・加工・販売事業	自社構成員が生産した玄そばを原料にして、そばの風味を生かしつつ、栄養素（ギャバ、ルチン）が増大するよう工夫した「発芽そば粉」開発・製造する。既存取引先のそば店を中心に、道の駅、インターネット販売を行い、経営の安定を図る。	株式会社村にある ものをねっぶえい ど	中川郡 音威子府村	H27.11	
118	家畜排泄物を原料としたバイオマス発電事業	清水町の畜産農家等の家畜排せつ物を原料とし発電・売電を行い、併せて発電工程で生成される液肥の販売を行うことで、従来付加価値を生んでいなかった家畜排せつ物の有効活用を図り、畜産農家の所得向上を目指す事業	株式会社御影バイオ エナジー	上川郡 清水町	H28.2	★ファンド出資 案件
119	国際リゾートNISEKOの外国人観光客をターゲットとした、ヴィニフェラ種ぶどうを使用したオーガニックワインの醸造・販売事業	自社にワイナリーを開設し、自社有機認証圃場で栽培するワイン用ぶどうを原料とし、ヴィニフェラ種のオーガニックワイン（有機農産物加工酒類）を醸造し、国際リゾートNISEKOの外国人観光客をターゲットに販売することにより農業所得の向上を図る。また、自社ワイナリーを運営する中で、ワイン用ぶどうの生産やワイナリーの開設を目指す若者等を雇用し、就農支援を行うことにより地域農業の持続と食を通じた地域経済の活性化を図る。	羊蹄グリーンビジ ネス株式会社	虻田郡 二セコ町	H28.3	
120	新鮮な生乳を使用したドリンクヨーグルトの加工・販売事業	大友牧場の新鮮な生乳を原料とした新商品、ドリンクヨーグルトの製造・販売を行う。既存商品（ナチュラルチーズ、ピザ）に新商品を加えて商品ラインアップを充実させることで、大友牧場及びおともチーズ工房双方の経営安定化を図る。新商品は、既存販路（北海道の物産と観光展、大手商社など）の活用や商談会等への出展により販路を確保・拡大する。	株式会社おとも チーズ工房	厚岸郡 浜中町	H28.3	
121	㈱オークリフ牧場飼育の「未来めわろうし」をはじめ、十勝の農畜産物を食材としたレストラン事業	北海道十勝地区の肉牛肥育農家が、自ら生産した牛肉と、連携する周辺農家が生産する農産物を用いた外食事業を展開することにより、原材料の付加価値向上を目指す事業	ワイシア株式会社	河東郡 音更町	H28.5	★ファンド出資 案件

■総合事業計画

令和6年3月29日現在

No.	事業名	事業の概要	認定事業者	市町村	認定年月	備考
122	構成員が生産している枝豆を利用した新商品「一般消費者向け冷凍剥き枝豆」の開発・販売事業	当農協では、これまで、組合員が生産する枝豆を利用して、冷凍枝豆の国内販売・海外輸出に取り組んできた。 本事業では、主に学校給食向けに販売していた「冷凍剥き枝豆」を、パッケージデザイン・内容量を一新して「一般消費者向け冷凍剥き枝豆」として主婦層をターゲットに販売する。 新商品の販売により、中札内村の枝豆の知名度を上げ、枝豆商品全体の売上拡大を図り、組合員の更なる所得向上、地域雇用の創出を実現する。	中札内村農業協同組合	河西郡 中札内村	H28.6	
123	生活スタイルにこだわりを持つ女性を対象に、ミニトマト本来の旨みを引き出したドライトマト・トマトジュースの製造・販売事業	自社生産のミニトマトを活用した新商品の製造・販売を行うことにより、収益の確保と経営の改善を図る。 具体的には、ミニトマトを原料とした「ドライトマト」、「トマトジュース」の開発・加工を行い、雑貨店等での販売を行う。	坂井 英樹	旭川市	H28.7	
124	道南を中心とした業務用市場をターゲットに川瀬牧場の生乳を使用した「チーズ」と「ジェラート」の加工・販売事業	川瀬牧場の生乳を活用した新商品「チーズ」「ジェラート」を開発し、加工・販売を行う。 商品の販売は、直売所その他、道南中心の業務用市場をターゲットとした提案型営業により販路拡大を図る。	川瀬 昭市	山越郡 長万部町	H28.9	
125	国内外の観光客や高級志向の消費者をターゲットに、構成員が生産した「ふらの和牛」の美味しさを直接提供する焼肉レストランの展開事業	構成員が生産した「ふらの和牛」を消費者に直接提供するため、札幌市の歓楽街であるすすきの地区で、高級志向の焼肉レストランを開発する。 焼肉レストランは、国内外の観光客や高級志向の消費者をターゲットとし、個室や半個室を中心として落ち着いた高級感のある空間とコース料理を中心としたメニュー展開で、他店との差別化を図る。 消費者ニーズを構成員の生産現場に活かし、「ふらの和牛」のさらなる品質向上と肉牛生産の拡大を図り、農業所得の向上を目指す。	T F 食品株式会社	空知郡 上富良野町	H28.12	【促進事業者】 有限会社谷口ファーム
126	北海道新得産そばを原料とする半生そば、そば茶の製造・販売事業	自社で生産したそばを使用した「半生そば」「そば茶」の製造・販売を行う。 具体的には、自社にHACCPの認証取得に対応した加工施設を整備することにより、原料生産から商品製造までを一体的に行うことで差別化と「新得そば」ブランドの価値向上を図り、地域の特産品としてのそば生産の持続的発展につなげる。 また、これまでの販売実績がある新得物産(株)の販路のほか、新得物産グループのバリューチェーンの強みを活かし、通信販売や直売などを行う。	有限会社新得物産 サホ口農園	上川郡 新得町	H29.2	
127	良質で安価な黒毛和牛の体外受精卵を製造(牛の飼育、採卵、体外受精、培養)から販売まで一貫して行う新たな販売方式の構築	三重県の一次事業者が、和牛の体外受精卵を独自の高い培養技術を用いて量産化し、北海道十勝地方を中心とする酪農家等へ供給販売することで、付加価値向上や酪農家、肉牛生産農家の経営安定を目指す事業	AGエンブリオサポート株式会社	帯広市	H29.4	★ファンド出資案件
128	自社ブランドの知名度向上を目的とした、自社・自社構成員が生産した特別栽培米の使いきり真空パック商品の開発・販売事業	自社・自社構成員が生産した特別栽培米の真空パック商品を開発・製造する。 サラリーマンのビジネスバックにも収まる薄く細長い形状のお米の新鮮パックをより多くの消費者に食べてもらうことで当社の知名度の向上を図り、既存の5kg・10kg精米商品の販売拡大に繋げ、農業所得の向上を目指す。	株式会社よねざわ農園	名寄市	H29.5	
129	北海道富良野地域のぶどうを活用したワインの製造・販売事業	山梨県や北海道等各地でぶどうを生産する農業者が北海道中富良野町で生産したぶどうを原材料としたワインを醸造し、パートナーのノウハウや販路を活用して販売することで、農産物の付加価値向上、消費拡大を目指す事業	株式会社Domaine Raison	空知郡 中富良野町	H29.8	★ファンド出資案件
130	農産物直売所を開設し、栽培期間中に農薬や化学肥料を使用せずに栽培する野菜を、地元や近隣の消費者に直接販売する事業	農園に隣接した直売所を開設し、こだわりの野菜を直接消費者が購入できる環境を提供する。直売所内に試食スペースを設置し、当農園の野菜と一般的な野菜との味の差を感じて頂く。また、当農園の野菜の魅力を伝えることで売上の確保を図り、農業所得の向上を目指す。	瀬野 雅人	北見市	H29.11	
131	カレーそばの街で自社栽培のそばを活用した新商品開発と販売事業	自社栽培のそばを活用した新商品の製造・販売を行うことにより、雇用の安定化と収益力の向上を図る。夕張市では、カレーそばで町おこしを行っているが、原料のそばは、地元産を使用していないことから、自社栽培のそばを活用したそば粉・麺等を開発し、地元の蕎麦屋や食堂に販売する。主な販売先は郵便局の「ふるさと小包」とし、その他「道の駅」「直売所」「インターネット」での販売も行う。	合同会社小野農園	夕張市	H29.11	
132	水揚げ量日本一の「さるふつはたて」を使用した「冷凍はたて貝柱」の品質向上と生産コストの低減を実現し、国内外の販売拡大を目指す事業	冷凍はたて貝柱の製造方法を見直し、安全衛生管理を含めた品質のさらなる向上と製造コストの低減を実現した新商品を開発する。 このことにより、「さるふつはたてブランド」の消費者の評価を高め、国内外の販売量の拡大に繋げる。	猿払村漁業協同組合	宗谷郡 猿払村	H29.12	

■総合化事業計画

令和6年3月29日現在

No.	事業名	事業の概要	認定事業者	市町村	認定年月	備考
133	「乾燥うどん」等の販売を強化するために、生産から販売まで一貫体制を構築し、トレーサビリティを確保するための自家産小麦の自社製粉事業	自社で生産された小麦「ひでちゃん小麦」を使用し、促進事業者マルワ製麺の協力の下製造する「乾燥うどん」等の販売力の強化を図る。 具体的には、これまで委託製粉を行って製造していた小麦粉を自社に製粉施設を整備し製造することにより、輸送コストを削減し収支の改善を図る。	有限会社三雄産業	網走郡美幌町	H29.12	【促進事業者】株式会社マルワ製麺
134	世界で唯一のばんえい競馬の魅力を発信する観光牧場で、国内外の観光客をターゲットに、自社生産の羊肉料理を提供するレストラン事業	自社で生産した羊肉を使用した羊肉料理をレストランで提供する。 ばんえい競馬の競走馬を生産する牧場に、レストランを開設し観光牧場として本格的に事業を開始。空港利用者、インバウンドをターゲットにジンギスカン、ロースト料理等を提供する。 競走馬の生産、観光牧場及びレストラン事業の総合的な展開で農業所得の向上を図る。	有限会社ばんえい牧場十勝	帯広市	H30.2	
135	知的障害者の雇用と地産地消による冬場の安価な農作物の供給を目的とした人工光・水耕栽培型植物工場による葉菜類・ハーブ類生産・販売事業	人工光・水耕栽培の植物工場で、葉菜類・ハーブ類を生産し、地元の青果卸売業者に全量を契約販売する。 また、連携する青果卸売業者は、既に野菜の輸出実績があることから、リーフレタスの中国や東南アジア、EU圏への輸出にもチャレンジする。	株式会社Ozaki	釧路市	H30.2	
136	札幌円山地区のレストランシェフが経営する農業生産法人によるレストラン・加工・直売事業	自社生産した約50種類の野菜等を活用した料理をレストラン等で販売する。 具体的には、風光明媚な農村地帯において、レストランや直売所等を備えた施設を開設し、レストランでの料理の提供・直売を行うとともに、スモークチキンや豚ベーコン等の製造・販売することで、冬期間の売上を確保する。 シェフ自ら生産した農畜産物をレストランのメニューとして活用することにより、付加価値を高め、所得の向上を図るとともに、人材育成、農村の活性化及び雇用の拡大等に貢献する。	株式会社AGRI SCAP E	札幌市	H30.2	
137	丘のまち美瑛を訪れる国内外の観光客をターゲットに自社生産小麦による「うどん」を製麺し店舗で提供する事業	自社生産した小麦（きたほなみ）を使用した「うどん」を製麺し、消費者に直接提供する。 うどん店舗は、グループ会社が運営する年間80万人以上が来場する観光農園に隣接して開設し、北海道美瑛町を訪れる国内外の観光客をターゲットとする。 このことにより、農産物の付加価値を向上させ、新たな雇用を創出するとともに、地産地消と地域活性化を目指す。	株式会社熊谷ファーム	上川郡美瑛町	H30.2	
138	自社山林を利用した放牧養豚の生産方式の確立、山林放牧豚を「パノラマテラスでセルフ式バーベキュー」等によるブランディングと豚肉加工製品の開発・販売	安全、安心、環境に関心が高く子供のいる家庭をターゲットに、放牧豚の精肉、ハンバーグ、ソーセージ、ベーコンを開発し、自社で直売するとともに、首都圏の高級スーパーや飲食店に卸売する。 また、直売所で購入した精肉や手ごねハンバーグ等を「牧場を一望できるパノラマテラスで自ら焼いて食べる」ことを、新たな価値として国内外の観光客に提供する。 地元農家と連携したマルシェ、乗馬トレッキングなども開始し、農業所得の向上と地域の活性化を図る。	有限会社十勝しんむら牧場	河東郡上土幌町	H30.2	
139	「オホーツク枝幸の旬を発信！」漁師がもてなすレストラン・直売所・水産加工展開事業	構成員が水揚げした生鮮水産物を使用して産地ならではの料理を直接消費者に提供するとともに、自社で製造した水産加工品や生鮮水産物を販売する。 道立自然公園の隣接地にレストラン兼直売所を整備し、オホーツク枝幸を訪れる国内外の観光客をターゲットとして生鮮水産物の付加価値を向上させることにより漁業経営の安定化と新たな雇用を創出する。 また、新たな枝幸町の発信拠点として観光客を取り込み地域活性化を目指す。	マズダ食品合同会社	枝幸郡枝幸町	H30.2	
140	北海道産自社ブランドさつまいも「紅甘雪」を活用した真空パック焼きいもの開発・販売	自社で栽培しているさつまいもを活用し、真空パックの焼きいもの製造・販売を行う。 自社さつまいもに「紅甘雪（べにあまゆき）」というブランド名を付けブランディングを行い、6次産業化プランナーのサポートのもと真空パックの焼きいもを開発、道の駅や地域の特産物を扱うアンテナショップなどに販売し、農業経営の改善と雇用の長期化・安定化を図る。	小西 静江	滝川市	H30.3	
141	美味で安全な食品の背景にこだわる消費者に向け自家製造濃縮フルーツトマトの開発・加工・販売事業	自ら生産したトマトを使用した濃縮フルーツトマトの製造方法を見直した新商品を開発・加工・販売する。 具体的には、自農場の加工施設で低温調理することにより、風味と旨みを向上させた新商品を開発し、美味で安全な食品の背景にこだわる消費者、レストラン、スーパー等をターゲットに販売し、自社トマトブランドの確立を図る。	中田 豪之助	上川郡下川町	H30.3	
142	本場ヨーロッパの味を再現、自社牧場で生産した羊乳を使用したチーズの製造・販売事業	自社で生産した羊乳を使用した羊乳カマンベールチーズ、羊乳フロマージュブランを開発し販売する。チーズの製造は、輸入チーズの買付けや販売に実績のあるグループ会社に委託するとともに、ホテルやレストラン、卸売業者、一般消費者に販売し、持続的な農業経営と収益の拡大を目指す。	札幌チーズ株式会社	札幌市	H30.4	

■総合化事業計画

令和6年3月29日現在

No.	事業名	事業の概要	認定事業者	市町村	認定年月	備考
143	平飼い有精卵・自然放牧生乳を使用したスイーツ、牛乳・乳製品の製造販売事業	シフォンケーキに代わる平飼い有精卵及び放牧乳を使用した新商品ムースケーキを開発。 (株)きのとのやの製造部門である(株)Kコンフェクトに製造を委託し、販売は、自社のホームページからのネット販売をメインに展開し、ウイルス等の外的要因を受けない事業展開を図る。	株式会社ユートピアアグリカルチャー	沙流郡 日高町	H30.7	
144	最新スモーク技術による、香り高く食べやすい半熟くん製卵の製造・販売	自社で生産する地元ブランド卵「下川六〇酵素卵」を使った半熟くん製卵の製造・販売を行う。 くん製製造の原材料には、下川町産のサクラチップや飲用温泉水を使用し、加工には業界初の最新スモーク技術を利用することで差別化を図る。また、全国で飲食店を経営する(株)イーストンの協力のもと販売促進を行う。 原材料である下川六〇酵素卵の認知度を高め、加工品と併せて酵素卵の売上げ向上を図ること、経営の改善を目指す。	株式会社阿部養鶏場	上川郡 下川町	H30.10	
145	オホーツク北見における自社生産ぶどうを用いたワイン製造・販売事業	自社生産のぶどうを使用(ピノ・ノワール【赤】、ミュラートゥルガウ【白】など)し、ワインの製造・販売に取り組む。 ワインの製造にあたっては、新たにワイナリーを建設。また、ワインづくりの識者や地元研究機関との連携により、品質の高いワイン製造を目指す。 ワイナリーでの直売のほか、レストランやホテル等への卸売により、農業所得向上を目指す。	株式会社未来ファーム	北見市	H30.11	
146	オホーツク産ジャージー乳による上質アイスクリームとヨーグルトの製造及び販売事業	自社で飼養しているジャージー牛の搾りたて牛乳を使ったアイスクリームとヨーグルトの製造・販売に取り組む。 廃校になった小学校を加工場として利用し、また、新たな雇用を創出することで、過疎化が進む地域の活性化と酪農経営の多角化を図っていく。 自社製造した生クリームを乳製品に利用するなど、消費者の「本物志向」に応えていく。	有限会社中谷牧場	紋別郡 湧別町	H30.12	
147	自家生産のいちごを使用したイチゴソースによる贅沢イチゴスイーツの開発、加工及び販売事業	自家で生産したいちごを活用して、新たにイチゴソースを開発・製造し、いちごとイチゴソースを用いた新商品を開発する。 新商品は、ソフトクリームと雑貨の店「TIARA(ティアラ)」で観光客及び地域の方々に販売することにより、農業経営の改善と農業所得の向上を図る。	池田 敦	苫前郡 羽幌町	H31.1	
148	冷凍えだまめ・冷凍さやいんげんに生産・加工等のトレーサビリティ情報が検索できるサービスを付加した新商品開発と販売事業	冷凍えだまめ・冷凍さやいんげんのパッケージに新たにQRコードを付し、食品情報クラウドシステムに農業生産者情報、加工工場情報、商品情報を集積し、消費者が求める食に対する安全安心を提供し、他社製品との差別化が図れる商品を開発。 既存取引先やJA直売所等での販売、全国全道の展示会での販売促進活動を通じ、芽室町のえだまめ・さやいんげんの知名度を上げ、食品加工事業全体の売上拡大を図り、組合員の所得向上、地域雇用の創出を実現する。	芽室町農業協同組合	河西郡 芽室町	H31.2	
149	点滴型水耕栽培によるミニトマト生産・販売及びジュース製造・販売事業	町の産業の維持・発展を図るため、ミニトマトの青果販売及びトマトジュースの開発・製造(委託)・販売を行う。 点滴型水耕栽培により、糖度や含有成分に特徴を持たせたミニトマトを生産し、この特性を活かしたジュースを製造。 生産方法を商品の特徴として打ち出し、高所得層をターゲットとした販路を開拓。農業所得の向上を図るとともに地域の産業振興に繋げていく。	北海道アグリネサンス株式会社	樺戸郡 浦臼町	H31.3	
150	自社牧場の生乳を使用し美瑛の風土を活かしたフランスの製法によるチーズの製造・販売事業	自社の生乳を中心とした美瑛町産の生乳を使用し、美瑛の風土を活かした本場フランス・コンテ地方の製法によるチーズを開発・販売する。 チーズの開発は、フランスでチーズの製造技術を学んだ従業員が行うとともに、主力商品のハードタイプチーズはグループ会社の飲食店で直接消費者に提供することで、バリューチェーンを形成し、農業所得の向上を図る。	株式会社美瑛ファーム	上川郡 美瑛町	H31.3	
151	こだわりの完熟フルーツの特徴を活かした、アイスクリームの製造・販売事業	樹上での完熟収穫によるこだわりの果実を使用し、果樹園らしい果物感のあるジェラートの製造・販売を行う。 ジェラートの販売により果実の美味しさを知ってもらい、果実の売上向上と雇用の確保を図り経営の改善を目指す。	増毛果実株式会社	増毛郡 増毛町	R1.7	

■総合化事業計画

令和6年3月29日現在

No.	事業名	事業の概要	認定事業者	市町村	認定年月	備考
152	自社牧場の生乳を100%使ったグリーンチーズと和風チーズ、ジェラート、ホーエージャムの加工・販売事業	新たに和風テイストのチーズの販売を行う。このことによりこれまで普段はチーズを食べることの少ないシニア層等、自社チーズを購入していた客層以外に訴求する商品を展開する。また、未利用資源であったホーエーを活用したジャムを製造し、ジェラートと共に販売することで、既認定商品であるグリーンチーズの更なるブランド力、及び経営効率の向上を図る。	旭川あらかわ牧場合同会社	旭川市	R1.8	
153	自社生産したブドウによるワインとそれを活用した甘味果実酒等の製造・販売事業	在来系・北米系・欧州系それぞれの品種の特徴を活かし世界に通用するワインを開発するため新たな施設として醸造所・販売所を建設し、グループ企業のクラフトジン等とあわせ販路を拡大する。 新千歳空港から車で20分の好立地を活かし、展望スペース、ワイナリーの見学等訪れたいかなるワイナリーを目指す。	MAOI株式会社	長沼町	R2.2	★ファンド出資案件
154	自社で有機栽培したくりりん南瓜を用いた加工品の開発・製造・販売事業	かぼちゃの専業農家であり、有機栽培をした「くりりん南瓜」は、糖度20度以上を誇る。長期間の保管が可能となる加工品として、「南瓜のマッシュ」、「南瓜のスライス」、「南瓜の皮ペースト」を製造・販売する。ブランド価値の向上とWEB等での直接販売による収益率の高い顧客への販売拡大により、安定的な収益の向上を図る。	株式会社みよい	森町	R2.3	
155	都市近郊型酪農による自社ブランドを活用した高成分生乳を用いたソフトクリーム等の開発・製造・販売事業	これまで高品質な生乳生産を背景に乳業メーカーによる牧場名を冠した牛乳等の販売を行われてきたが、自らがアイスクリーム類、フローズンヨーグルトの開発、製造販売を新たに行う。これまで連携している乳業メーカーへの卸売を行うとともに、札幌市近郊と言う立地上条件の良さを活かし製造施設に併設した直売所で消費者への直接販売を行う。	有限会社小林牧場	江別市	R2.3	
156	たまごの黄身の色は餌によって違いが出るなどの特性を活かし、希少な純国産鶏ちみじの卵を贅沢に使用した、養鶏場ならではの無添加で黄身色を楽しむアイスクリーム、「kimiuro ice」の製造・販売事業	鶏卵の卸売・直売を行っている農家が無添加のアイスクリームを製造する。 飼料の配合により黄身の色が違う卵を生産しており、その特徴を活かした商品開発を行う。 鶏卵は需要に合わせた生産量の調整が難しく、これまで賞味期限の関係から安価で販売されていた鶏卵を活用し新たな商品として販売することで、直売所への来客数増加を促し鶏卵の付加価値の向上と収益の改善を図る。	株式会社太田ファーム	江別市	R2.3	
157	中標津産大麦を原料とする麦芽製造方式の確立と麦芽使用麦茶・グラノーラの開発販売	中標津クラフトモルティングジャパン株式会社が、有限会社希望農場で生産した大麦を原料として麦芽を生産する。麦芽は、発酵原料として、全国のクラフトビール醸造所、ウィスキー蒸留所に販売する。北海道中標津産大麦を原料とする、純国産のビール、ウィスキーを各地に実現する。大麦の故郷として中標津の知名度を上げ、地域農産物のブランド化を図る。 また、麦芽の一部を用い、協力企業に製造委託し、麦芽入りグラノーラ、発芽麦茶を販売する。グラノーラ、麦茶は牛乳と合わせるメニュー、レシピの提案を行うことで、牛乳の消費拡大が期待される。	中標津クラフトモルティングジャパン株式会社	中標津町	R2.3	
158	道南地域における農場HACCP認証や乳牛の健康維持の取り組みにより生産される高品質生乳を用いたアイスクリーム類の製造・販売事業	生乳の付加価値を高めるため、アイスクリーム類の開発・製造販売を行う。安全で美味しい生乳を原料としたアイスクリーム類の販売により、生乳の価値を高め、酪農業及び関連事業の所得を向上させ、雇用の安定と地域活性化を目指す。	株式会社ひらかわ牧場	せたな町	R2.4	
159	癒し、健やかをキーワードに元料理人が栽培したハーブで作るブレンドハーブティの製造販売事業	調理師の経験を活かしたオリジナルブレンドハーブティの製造、販売を行う。ハーブティはストレスや生活リズムの乱れに対するセルフケアをコンセプトとして開発を行い、メンタルヘルスへの効果を想起させるネーミングとする。また、レストランに対してはシェフから料理の種類や趣向に合ったブレンドのオーダーを受ける。	齋藤 嘉憲	江別市	R2.4	
160	自家配合飼料による平飼い卵・鶏肉を使用したサーファー向けレストランと加工品の開発販売事業	規格外卵や産卵鶏を活用し、卵や鶏肉の美味しさを追求したレストランと加工品の開発を行う。 レストラン事業は店舗近郊にはサーフスポットがあるため、サーファーを意識した事業展開を行う。また、加工品は有名シェフにレシピを依頼、原料の素材にこだわった商品として製造、販売を行う。	デンアール株式会社	勇払郡厚真町	R2.7	
161	富良野、美瑛の大自然から生まれたジェラートを世界中の人々へ届ける、自社グループ牧場の生乳を活用したジェラート等の製造及び販売事業	グループ会社が生産する高品質な生乳と地産産の食材を活かしたジェラートを製造し、富良野・美瑛地域を訪れる観光客に対して販売する。また、グループ会社の持つ販路を活用して国内への卸売のほか、台湾やタイに向けた輸出を行う。	T F 食品株式会社	空知郡上富良野町	R2.9	

■ 総合化事業計画

令和6年3月29日現在

No.	事業名	事業の概要	認定事業者	市町村	認定年月	備考
162	水温熟成製法による高品質・高鮮度SPF豚精肉を用いた高収益化プロジェクト	SPF豚肉を水温熟成製法により熟成させ、旨味の増した豚肉による新商品（精肉、加工品、惣菜等）の開発・製造・販売を行うため、加工場兼直売所を新設。系統出荷を減らし、豚内の自社加工比率を高め、直売所やふるさと納税返礼品、Web販売の強化を行うことで、当別町近隣住民から全国の消費者までをターゲットとし高収益化を図る。	有限会社浅野農場	石狩郡当別町	R4.3	
163	生産から醸造まで一貫した十勝初のオーガニックワイン醸造・直売事業	有機栽培のぶどうの生産とオーガニックワインの醸造を行い、付加価値を高めたオーガニックワインとして販売を行う。十勝川温泉を訪れる観光客や地域事業者と連携し、地元十勝の飲食店等にも販売する。オーガニックワインを通じた新たな観光客の誘致を行うなど十勝川温泉の活性化にも取り組んでいく。	十勝ぶどう園株式会社	河東郡音更町	R6.3	